



このシンボルは、このガイド内の安全性と健康に関するメッセージを示します。

注意:デバイスの安定性

デバイスを平らでない表面や不安定な表面に置かないでください。持ち運ぶ際はしっかりと保持し、アクセサリ、ケーブル、またはコードで持たないでください。デバイスをしっかり保持しないと、デバイスを落としたり、人やものにぶつける可能性があります。これにより、デバイスや他のプロパティを破損したり、人にけがを負わせる場合があります。



警告:クリーニング

Microsoft デバイスのクリーニング中に火災、感電、損害が生じるリスクは、次の予防措置をとることで減らすことができます。

- クリーニングする前に、すべてのケーブルを取り外し、デバイスの電源をオフにします。
- デバイスの外部のみをクリーニングします。
- 乾いた布でデバイスをクリーニングします。
- ファン、通風孔、またはその他の開口部の外部面を軽く拭き取り、積もったほこりを取り除きます。
- 液体に浸してコネクタをクリーニングしないでください。乾いた布で軽く拭き取って乾かすだけにしてください。



警告:ポートと開口部

Microsoft デバイスの火災、感電、損害のリスクを軽減するには

- 通風孔、ポート、キックスタンドのスロットやヒンジ、キーの周囲の空間、または他の開口部にものを挿入しないでください。
- ポート、キックスタンドのスロットやヒンジ、キーの周囲の空間、または他の開口部を鋭利なもの (クリップ、ドライバー、万能ナイフなど) でクリーニングしないでください。

警告:修理のリスク

デバイスを開けたり、修理したりすると、感電、デバイスの破損、火災、人身傷害のリスク、その他の危険が生じる可能性があります。Microsoft では、デバイスの修理について専門家に依頼することをお勧めします。お客様ご自身が修理を行う場合は十分注意してください。

警告:使用法

火災、感電、またはデバイスの破損のリスクを軽減するために、デバイスを雨、雪、またはその他の種類の湿気にさらすことは避けてください。水の近くや、湿気のある場所、または極端に湿度の高い場所 (例: シャワー、浴槽、流し、プールの近く、湿った地下室など) でデバイスを使用しないでください。デバイスを理想的な動作条件で使用するため、以下の点に注意してください。

- 熱源、食品、過度な汚れ、ほこり、油、化学薬品の近くや、強力な直射日光下でデバイスを使用しない。
- デバイスの上にものを置かない。
- Microsoft が指定する付属品やアクセサリのみ使用する。
- ファン、通風孔、ポート、スロットとヒンジ、キーの周りのスペース、またはその他の開口部に物を挿入しない。
- ファン、通風孔、または他の開口部にほこりが積もらないようにする。
- 狭い場所や物が詰まったスペースにデバイスを置かない。
- デバイスをヘア ドライヤー、オーブン、衣服乾燥機、トースター、電子レンジで乾かさない。デバイスが濡れた場合、きれいな乾いた布で軽く拭いてください。

注意:取り扱い

Microsoft デバイスの取り扱いには十分ご注意ください。デバイスは金属、ガラス、およびプラスチックでできており、機密性の高い電子部品が内部に含まれています。落したり、焼却したり、穴をあけたり、押しつぶしたりした場合、または液体に触れると、デバイスが破損することがあります。お使いのデバイスやそのバッテリーへの破損が疑われる場合は、過熱や怪我の原因になることがあるため、デバイスの使用を停止してください。



警告:窒息の危険性

デバイスによっては、3 歳未満のお子様が窒息してしまう危険性のある小さな部品が含まれています。お子様が小さな部品を口に入れないようにしてください。



警告:小さなお子様の手の届く場所に置かないください

デバイスとそのアクセサリは、おもちゃではありません。小さなお子様には、本機やアクセサリで遊ばせないでください。小さなお子様はケガをしたり、本製品が破損したりする可能性があります。本製品とその部品、アクセサリはすべて小さなお子様の手の届くところに置かないでください。

注意:発熱に関する問題

本デバイスは、通常の使用時に熱くなることがあります。国際安全基準 (IEC 60950-1 および IEC 62368) で定義されているユーザーが利用可能な表面温度の制限に準拠しています。それでも、温かい表面に長時間接触し続けると、不快感や外傷の原因になる場合があります。発熱に関する潜在的な問題を低減するために、次のガイドラインに従ってください。

- 使用中または充電中は、デバイスとその電源装置を十分に換気された場所に保管します。本製品および電源装置 (PSU) の下および周囲に適切な空気循環を確保します。
- 常識を働かせ、デバイスが動作しているとき、または電源に接続されているときは、肌がデバイスやその電源装置に接触する状況を避けてください。たとえば、電源装置が電源に接続されているときは、デバイスやその電源装置のそばで寝たり、デバイスやその電源装置を毛布や枕の下に置いたりせず、身体とデバイス間の接触を避けてください。身体への熱を検出する能力に影響を与える身体障害がある場合は、特別な注意を払ってください。
- デバイスを長時間利用すると、表面が非常に熱くなることがあります。
- デバイスの底部や PSU の表面は通常の使用時に温度が高くなることもあるため、熱に弱い家具や他の表面にデバイスや PSU を置かないでください。



警告:電源装置 (PSU) DC コネクタ

- 電源装置 (PSU) が電源に接続されているときは、DC コネクタを長時間肌に接触させないでください。不快感や外傷の原因になります。寝るときや座るときに DC コネクタが下敷きになる状態も避けてください。
- 液体、汗、ほこり、またはその他の汚染物質にコネクタをさらさないでください。汚染されたコネクタを使用すると、過熱につながり、不快感や外傷の原因になります。ただちにコネクタの使用を停止してください。デバイスから DC コネクタを取り外します。清潔な布で乾拭きします。
- 充電器またはコードに破損が見つかった場合は、それがコードのどの部分であっても、充電器またはコードの使用を中止してマイクロソフトにサポート オプションをお問い合わせください。

注意:ケーブルおよびコードの安全な取り扱い

デバイスのケーブルやコードが散乱していると、つまずく危険性があります。ケーブルおよびコード類は、つまずいたり誤って引き抜くことのないように、人やペットが通る場所から遠ざけて配置してください。お子様がケーブルやコードで遊ばないようにしてください。コードとケーブルの損傷を回避するため、以下の点に注意してください。

- コードが踏まれたり押しつぶされないように保護してください。
- 電源コードをはさんだり、折り曲げたりしないでください。特に、壁の電源コンセント、電源アダプター、製品と接続されている部分については注意してください。
- 電源コードを引っ張ったり、結んだり、折り曲げたり、伸ばしたりするなど、不適切な使い方をしないでください。電源コードをきつく巻きつけないでください。特に、電源アダプターに巻くときは、きつく巻きつけるのではなく、ゆるく巻きます。
- デバイスまたは PSU を配置するときに、コードが極端に曲がっていないこと、およびコネクタが壁や固い表面に押し付けられていないことを確認してください。
- 電源コードを熱源に近づけないでください。
- ペットやお子様が電源コードを口に入れないようにしてください。
- 電源コードをコンセントから抜く際は、コードを引っ張るのではなく、プラグを持って抜いてください。
- 電源コードとケーブルを定期的に点検してください。電源コードまたはケーブルが熱くなっている、すり減っている、割れている、または何らかの損傷を受けている場合、直ちに使用を中止してください。損傷した

電源コードまたはケーブルは、正規のマイクロソフト交換用電源コードまたはケーブルと交換することをお勧めします。

- 雷雨時または長期間使用しない場合は、充電ケーブルまたはコードをコンセントから抜いてください。



警告: 静電気 (ESD)

この DevKit には、静電気により損傷を受ける可能性のある多数の精密なコンポーネントが含まれています。

ESD による損傷を回避するために、次の予防措置を講じてください。

- 個々のモジュールを持ち上げる前に、大きな金属に触れる
- キットのモジュールを移動するときに、サーキット ボードに直接触れないようにする
- ボードを直接扱うときには ESD リスト ストラップを使用する (ボードをシャーシから取り外す場合など)

規制情報

規制モデル シリーズ:DKSC-101。この機器の特徴は次のとおりです。

- 一般的な家庭またはオフィス環境で動作するように設計された情報テクノロジー機器 (ITE) として評価されます。他の環境に対するこの製品の適合性は、さらに評価することが必要な場合があります。
- NRTL Listed (UL、CSA、ETL など) および IEC/EN 60950-1 または IEC/EN 62368-1 準拠 (CE マーク) の情報テクノロジー機器で使用するよう設計されています。
- +0°C (+32°F) から +35°C (+95°F) までの動作温度向けに設計されています

電力供給定格については、ユニットに付属している電源定格ラベルを参照してください。

注意:Microsoft から明示的な承認を受けずに機器を変更すると、機器を操作するユーザーの権限が無効になる可能性があります。

無線周波エネルギーへの露出

- この機器は、非管理環境に対して規定されている FCC/ISED の放射線露出制限に準拠しています。この機器は、放射体と体を少なくとも 20cm (8 インチ) 以上離してインストールおよび操作する必要があります。この送信機は、他のアンテナや送信機と共に併置または操作することはできません。無線周波数の安全性に関する追加情報については、FCC の Web サイト (<https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0>) および Industry Canada の Web サイト (<http://www.ic.gc.ca/eic/site/smt-gst.nsf/eng/sf01904.html>) を参照してください。


EU:

Microsoft Corporation は、この IOT デバイスが指令 2014/53/EU に準拠していることをここに宣言します。

EU 適合宣言の完全なテキストは、次のインターネット アドレスで確認できます。

[EU 適合宣言のコピーをリクエストする](#)

このデバイスは、EU のすべての加盟国で動作する可能性があります。デバイスが使用される国と地域の規制を順守してください。このデバイスは、次の国で 5150 から 5350MHz の周波数の範囲内で動作している場合、屋内のみの使用に制限されます。

AT	BE	BG	HR	CY	CZ	DK	
EE	FI	FR	DE	EL	HU	IE	
IT	LV	LT	LU	MT	NL	PL	
PT	RO	SK	SI	ES	SE	英国	

周波数帯域と電力

テクノロジー	周波数帯域 (MHz)	最大 EIRP (dBm)
Bluetooth	2400 から 2483.5	6.18
Bluetooth LE	2400 から 2483.5	7.16
802.11bgn	2400 から 2483.5	19.77
802.11a/n/ac	5150 から 5250	22.72
802.11a/n/ac	5250 から 5350	22.47
802.11a/n/ac	5470 から 5725	22.91

使用済みバッテリーと電気・電子機器の廃棄:



製品、そのバッテリー、またはそのパッケージに記載されているこのシンボルは、この製品およびそれに含まれるすべてのバッテリーを、家庭ごみとして廃棄してはならないことを意味します。代わりに、ユーザーは責任を持って、バッテリーおよび電気電子機器のリサイクル用の適切な収集場所にこれを渡す必要があります。この個別回収とリサイクルは、天然資源の節約に役立ち、不適切な廃棄によって生じる可能性のある、バッテリーおよび電気電子機器内に存在する可能性がある有害物質による、人の健康および自然への潜在的な悪影響を防ぎます。バッテリーおよび電気電子機器を廃棄する場所について詳しくは、最寄りの都市/自治体の窓口、家庭内廃棄物処理サービス、またはこの製品を購入した店にお問い合わせください。WEEE の追加情報については、erecycle@microsoft.com にお問い合わせください。

この製品には、コイン電池バッテリーが含まれています。

Microsoft Ireland Sandyford Ind Est Dublin D18 KX32 IRL

電話番号: +353 1 295 3826

FAX 番号: +353 1 706 4110

本製品の使用は、周波数 5.15 ~ 5.35 GHz での許諾された操作に対する有害な干渉を防ぐために、屋内のみに制限されています

FCC および IC の適合宣言:

この装置は、FCC ルールの Part 15 およびカナダ産業省 ライセンス免除 RSS 基準に適合しています。ただし、この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

注: Microsoft による明示的な承認のない変更や改造を加えた場合、この装置を扱う権限が失われる可能性があります。この装置は、FCC ルールの Part 15 および Canadian ICES-003 に記載されている仕様に基づく Class B デジタル装置の制限に準拠していることがテストによって確認済みです。これらの制限の目的は、住宅に設置した場合の干渉を適度に防止することです。この装置は、無線周波エネルギーを発生、使用、および放射することがあり、説明書に従って設置および使用しない場合は、ラジオ通信に干渉を起こす可能性があります。ただし、特定の設置条件で干渉が起きないことを保証するものではありません。この装置が原因となってラジオ

やテレビの受信に干渉が起きているかどうかは、この装置の電源を入れる (または 切る) ことによって判断できます。この装置が原因である場合は、次の 1 つまたは複数の対策によって、干渉を起こさないように修正を試みることをお勧めします。

- 受信アンテナの向きまたは位置を変えます。
- この装置を受信機から離れた場所に移動します。
- 受信機とこの装置を別々の回路にあるコンセントに接続します。
- ラジオやテレビの販売業者または経験豊富な技術者に

問い合わせます。障害についての詳細は、FCC のウェブサ

fcc.gov/cgb/consumerfacts/interference.html を参照してください。FCC に電話 (1-888-CALL FCC) して、「Interference and Telephone Interference」のファクトシートを取り寄せることもできます。

CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)

無線周波の放射ばく露に関する宣言:

この装置は、無規制の環境に対して設定された FCC/IC の放射ばく露の制限に準拠しています。この装置では、ヘッドセットおよびハンドヘルド デバイスを除き、放射体を人体から 20 cm 以上離して設置し、操作する必要があります。この発信機は他のアンテナまたは発信機と同じ場所に置いたり、一緒に動作させないでください。無線周波の安全性について詳しくは、FCC のウェブサイト www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0 およびカナダ産業省のウェブサイト www.ic.gc.ca/eic/site/smt-gst.nsf/eng/sf01904.html を参照してください。